企業・団体名（株式会社キョウデン）

（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	常に働きやすい職場環境の維持、各自の人権尊重、民族・国籍・性別・障害の有無などによるあらゆる差別を行わないために、適切な雇用条件の設定や年1回/従業員全員教育を実施、宣誓書の提出義務あり。 「就業規則」「コンプライアンス規程（コンプライアンスガイドライ					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	ハラスメントの禁止を明確化。相談窓口の設置あり。年1回/従業員全員教育を実施、宣誓書の提出義務を設け、周知徹底している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	労働時間・状況について労働基準法等に則り、経営者を含め共有している。「就業規則」の制定により適切な勤務体制を整備し、勤務時間を管理している。								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	国籍を問わず、差別のない労働環境の整備を行っている。企業行動理念を掲げ、一人ひとりが互いの人権、個性を尊重することに努めている。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	職場巡視実施など安全衛生関連規則等に則り、社員の安全確保、快適な作業環境を形成。事業所目標に「労災・事故の発生抑制」を掲げ、活動を行っている。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	年1回ストレスチェックを実施。ストレス度が高い方へ、個別に産業医との面接指導の通知を送り、事前指導を推進。また、外部の保健師・精神保健福祉士等の医療専門職の方に電話又はメールにて相談できるサービスを導入。			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	女性の能力発揮の促進や仕事と育児の両立支援を行い、女性が活躍できる環境整備を行う為、行動計画を策定。社内規程「就業規則」「コンプライアンス規程（コンプライアンスガイドライン）」を整備。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	QC検定、技能検定、eco検定の受験および南信短期工科大学からの講習会受講を推進。教育訓練関連ルールの中で『従業員は企業の財産である』の観点により人的資源確保ならびに人材育成に努めている。				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	「就業規則」「給与規程」等により、平等な労働条件下で就労可能な体制を整え、管理している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	社員食堂のリニューアル実施。栄養バランスの取れた食事を低価格で提供し、明るく開放的な環境をつくることにより食堂利用率を上げ社員の健康維持に努めている。			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	専門セクションにて廃棄物の種類、量などを管理し、削減目標を策定している。											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	中部電力ミライズ様と共同で使用電力の監視等を行い、省エネに取り組んでいる。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	品質環境会議を開催しその中での排出量監視、削減目標を策定。各セクションにてアクションプランを作成し取り組んでいる。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	適切な使用量及び保管を管理、また内部認定資格員による法規制ミーティングで監視中。事業所全体で環境汚染防止、禁止物質排除と有害物質抑制に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	工場排水を利用した池を作り、鯉を飼育。また、製品のライフサイクルに考慮した工場運営を行っている。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	廃棄物管理ルールに則り、廃棄物の収集、保管、運搬、再生、処分及び委託処分を実施。分別、再利用など3Rを推進。環境目標として排出量の監視・削減に取り組んでいる。												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	水使用量を管理し、環境目標として監視・使用量削減に取り組んでいる。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	ISO14001取得(2002年3月)。マネジメントシステムの枠組みを整備し品質･環境統合マネジメントシステムとしてプロセスアプローチ手法を用いて運営を管理。全従業員による継続的改善に努めている。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	環境に関する情報を管理することで利害関係者との環境に関する処理手順を明確化。取り組みに関しては、HPにて情報を開示。												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】地元：箕輪町のゼロカーボンシティ構想にむけた、太陽光発電設備の検討							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	社内規程「グリーン調達ガイドライン」に沿った顧客要求である「グリーン調達」への対応、「購買基準」における調達段階での環境負荷低減や法規制順守、グリーン購入の積極的活動を実施。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	汚職･贈収賄を禁止する体制を整備し、1回／年、社内教育あり。コンプライアンスに関わるチェックのシステム化など、コンプライアンスマインドの維持･管理に努めている。																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	不正競争行為に関与しない体制を整備し、1回／年、社内教育あり。コンプライアンスに関わるチェックのシステム化など、コンプライアンスマインドの維持･管理に努めている。																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	知的財産を保護する体制を整備し、1回／年、社内教育あり。コンプライアンスに関わるチェックのシステム化等により、コンプライアンスマインドの維持･管理に努めている。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報保護のルールを制定し体制を整備している。1回／年、社内教育あり。コンプライアンスに関わるチェックのシステム等により、コンプライアンスマインドの維持･管理に努めている。社内通報窓口の設置あり。																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	「購買基準」を発行･配布し、その中でCSR基準および環境基準によりサプライヤー管理を徹底している。																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	「購買基準」を発行･配布し、『キョウデングループの調達に関する基本指針』を掲げ、サプライヤー様とパートナーシップの構築と相乗効果による"Win to Win"実現を目指し活動している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	ISO9001取得(1998年9月)。専門部署を中心として、製品、サービスの安全性、品質保証の体制を確立し運営中。顧客対応及び技術開発を推進している。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	ISO9001取得(1998年9月)。専門部署を中心として、製品、サービスの安全性、品質保証の体制を確立し運営中。顧客対応及び技術開発を推進している。									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	製品を構成する材料や製造段階で使用する薬品類について、調達の段階から成分や組成を把握することで「グリーン調達」を推進し、環境負荷の少ない製品づくりを推進。						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	何事にも前向きに取り組み、知恵を出し、創意工夫を以て困難に挑戦し困難を乗り越える集団として、率先して「事業」「環境」「くらし」の課題解決に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	最終放流水が河川に与える影響を理解し、適切な処理を行う事で管理を徹底している。また自主的に騒音を計測し近隣への配慮し、監視している。				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	天竜川環境ピクニックへの参加、献血への協力、県の消防団協力事業所表示制度への加入等を実施。また、これらを環境目標に掲げ進捗および状況確認を行っている。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	工場運営上、工事等が必要となった時は、地元企業を優先的に採用。								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念カードを作成し、全従業員へ配布、携帯する事により共有している。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	「コンプライアンス規程(コンプライアンスガイドライン)」により、体制を整備している。1回／年、社内教育あり。関連法規制を把握、遵守している。																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	経営推進本部などの組織を整備し、担当取締役によりコンプライアンス委員会の設置･運営、またISO推進部を中心として品質･環境マネジメントシステムを事業所全体で運営中。	iso															16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	スタンダード市場の上場維持基準を遵守し、ステークホルダーに対応。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	リスクマネジメント規程によりリスクマネジメント委員会を設置、重点管理リスクを特定し、各セクションにおいて対策を実施している。																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	「企業行動理念」を掲げ、社会的良識のもと責任ある行動を心がけている。また、アダプトシステムの締結等、地域と調和の取れた活動に取り組んでいる。																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	BCPマニュアルを策定し、”災害等の緊急事態に強い企業”の構築を目指している。									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	後継者候補がいる。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）